



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月9日
上場取引所 東

上場会社名 東邦ホールディングス株式会社
コード番号 8129 URL <https://www.tohohd.co.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役CEO (氏名)有働 敦
問合せ先責任者 (役職名)執行役員 広報IR本部長 (氏名)河村 真 (TEL)03(6838)2803
四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-----------|------|-------|------|--------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第3四半期 | 1,057,814 | 11.3 | 8,552 | 54.1 | 13,428 | 35.8 | 9,534 | 38.0 |
| 2022年3月期第3四半期 | 950,219 | 3.6 | 5,549 | 68.3 | 9,887 | 31.6 | 6,910 | 74.0 |

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 8,917百万円(217.7%) 2022年3月期第3四半期 2,806百万円(△72.7%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| 2023年3月期第3四半期 | 円 銭 136.09 | 円 銭 125.10 |
| 2022年3月期第3四半期 | 97.98 | 90.07 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|----------------|----------------|-----------|
| 2023年3月期第3四半期 | 百万円 794,382 | 百万円 240,383 | % 30.2 |
| 2022年3月期 | 702,376 | 241,281 | 34.3 |

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 240,147百万円 2022年3月期 240,931百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|----------|--------------|----------|--------------|--------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 2022年3月期 | 円 銭 — | 円 銭 15.00 | 円 銭 — | 円 銭 15.00 | 円 銭 30.00 |
| 2023年3月期 | — | 16.00 | — | — | — |
| 2023年3月期(予想) | — | — | — | 16.00 | 32.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-----------|-----|--------|------|--------|------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 1,269,000 | 0.2 | 12,300 | △1.8 | 17,600 | △3.2 | 11,300 | △15.5 | 163.07 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|------------|-------------|------------|-------------|
| 2023年3月期3Q | 78,270,142株 | 2022年3月期 | 78,270,142株 |
| 2023年3月期3Q | 11,302,419株 | 2022年3月期 | 7,729,376株 |
| 2023年3月期3Q | 70,059,745株 | 2022年3月期3Q | 70,525,653株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 8 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (会計方針の変更) | 9 |
| (セグメント情報) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における医療用医薬品市場は、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴い、治療薬・検査キットなどの関連製品の需要が高まったこと等によりプラス成長となりました。当社グループにおいては、新型コロナウイルス関連製品の売上が拡大したことに加え、がん治療薬などの新薬、スペシャリティ医薬品、希少疾病用医薬品の売上が伸長し、堅調に推移しました。

当社グループは引き続き、従業員やその家族、お得意先、患者様等の安全のため、感染防止に最大限努めるとともに、医療提供体制の維持に貢献すべくワクチンや針・シリンジ、治療薬等の新型コロナウイルス関連製品の配送に尽力しました。

顧客支援システムにつきましては、機能強化しましたアプリ版のオンライン診療・服薬指導システム「KAITOS」、初診受付サービス、薬局本部システム「ミザル」等の提案活動に積極的に取り組むとともに、当社子会社のエンタッチが提供するリモートディテリングを活用したオンラインによるプロモーションも開始しました。

物流機能につきましては、TBCダイナベースの立地および機能を製薬メーカーからご評価いただき、卸物流に加えメーカー物流の要望を多く受け、TBCダイナベースを活用したメーカー物流にも取り組んでおります。なお、レオファーマ株式会社からは当社グループの高機能な物流体制、緊急時への対応とこれまでの受託実績をご評価いただき、2023年1月よりレオファーマ株式会社が自社販売を開始する尋常性乾癬治療剤「ドボネックス®軟膏 50 μ g/g」の流通業務を受託することとなりました。

また、中長期的経営戦略の一つとして、成長分野における最先端技術の取り込みや枠にとらわれない協業の推進と積極的な投資を進めており、その一環として、2023年4月より国立研究開発法人産業技術総合研究所と連携研究ラボを設立し、医療アクセスにおけるさまざまな課題を解決するための共同研究を実施することで合意しました。

当第3四半期の連結業績は、売上高1,057,814百万円（前年同期比11.3%増）、営業利益8,552百万円（前年同期比54.1%増）、経常利益13,428百万円（前年同期比35.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益9,534百万円（前年同期比38.0%増）となりました。

セグメントの業績の概略は以下のとおりです。

医薬品卸売事業においては、スペシャリティ医薬品をはじめとする、取扱卸を限定する製品の売上が引き続き順調に拡大しました。また、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴いコロナ治療薬・検査キットの需要が高まり、業績に大きく寄与しました。医療機関との価格交渉につきましては、ジェネリック医薬品や解熱鎮痛剤等の出荷調整への対応により面談時間が十分に取れない中、個々の製品価値と流通コストに見合った価格交渉を一層推進し、利益水準の維持・向上に努めました。一方で、医薬品市場の環境変化に迅速に対応するため、営業拠点の再編やMS支援システム「新型メイサ」の導入など営業サポート体制の強化に取り組みました。これらの取り組みの結果、当第3四半期の医薬品卸売事業の売上高は1,019,985百万円（前年同期比11.6%増）、セグメント利益（営業利益）は6,778百万円（前年同期比85.8%増）となりました。

調剤薬局事業においては、診療報酬改定への対応を進めるとともに、採算性を重視した新規開局や閉局を行いました。また、SNSを活用した服薬指導やオンライン服薬指導、処方せん送信アプリの利用促進など、デジタルツールの活用による患者サービスの向上にも努めました。その結果、売上高は68,843百万円（前年同期比0.1%減）、セグメント利益（営業利益）は1,738百万円（前年同期比23.8%減）となりました。

医薬品製造販売事業においては、自社で構築した独自の検証システムに基づく徹底した品質管理と、需要に基づく計画的な生産体制を構築することで、高品質・高付加価値な医薬品の安定供給に取り組みました。また2022年12月にジェネリック医薬品1成分2品目を新たに発売するなどラインナップの拡充を図り、2022年12月末時点でのジェネリック医薬品の販売製品は89成分208品目となりました。その結果、売上高は7,442百万円（前年同期比11.0%増）、セグメント利益は715百万円（前年同期比3.5%増）となりました。

その他周辺事業においては、売上高は4,939百万円（前年同期比18.9%増）、セグメント利益（営業利益）は449百万円（前年同期比45.5%増）となりました。

（注）セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて18.7%増加し、609,192百万円となりました。これは、現金及び預金が18,658百万円、受取手形及び売掛金が56,382百万円、商品及び製品が15,146百万円それぞれ増加したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.2%減少し、185,189百万円となりました。これは、有形固定資産が3,156百万円減少したこと等によります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて13.1%増加し、794,382百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて27.5%増加し、513,629百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が98,817百万円、1年内償還予定の社債が20,008百万円それぞれ増加し、短期借入金が3,674百万円、未払法人税等が3,465百万円それぞれ減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて30.7%減少し、40,369百万円となりました。これは、長期借入金が1,502百万円増加し、社債が20,023百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて20.1%増加し、553,998百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.4%減少し、240,383百万円となりました。これは、利益剰余金が7,322百万円増加した一方、自己株式が7,387百万円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日に公表しました2023年3月期通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 94,256 | 112,915 |
| 受取手形及び売掛金 | 301,601 | 357,984 |
| 商品及び製品 | 80,169 | 95,315 |
| 原材料及び貯蔵品 | 194 | 209 |
| その他 | 37,175 | 43,160 |
| 貸倒引当金 | △290 | △391 |
| 流動資産合計 | 513,107 | 609,192 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 94,653 | 91,496 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 733 | 596 |
| その他 | 4,443 | 4,718 |
| 無形固定資産合計 | 5,177 | 5,315 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 91,289 | 90,437 |
| 貸倒引当金 | △1,851 | △2,060 |
| 投資その他の資産合計 | 89,438 | 88,377 |
| 固定資産合計 | 189,268 | 185,189 |
| 資産合計 | 702,376 | 794,382 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 370,012 | 468,829 |
| 短期借入金 | 6,545 | 2,870 |
| 1年内償還予定の社債 | - | 20,008 |
| 未払法人税等 | 5,416 | 1,950 |
| 賞与引当金 | 3,252 | 1,575 |
| 役員賞与引当金 | 53 | 31 |
| 資産除去債務 | 4 | 1 |
| その他 | 17,535 | 18,361 |
| 流動負債合計 | 402,819 | 513,629 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 20,023 | - |
| 長期借入金 | 12,596 | 14,098 |
| 退職給付に係る負債 | 2,423 | 2,479 |
| 資産除去債務 | 2,741 | 2,753 |
| 独占禁止法関連損失引当金 | 3,639 | 5,039 |
| その他 | 16,850 | 15,999 |
| 固定負債合計 | 58,275 | 40,369 |
| 負債合計 | 461,095 | 553,998 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 10,649 | 10,649 |
| 資本剰余金 | 49,228 | 49,146 |
| 利益剰余金 | 180,254 | 187,576 |
| 自己株式 | △15,719 | △23,107 |
| 株主資本合計 | 224,413 | 224,265 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 20,792 | 20,158 |
| 土地再評価差額金 | △4,273 | △4,276 |
| その他の包括利益累計額合計 | 16,518 | 15,881 |
| 新株予約権 | 149 | 146 |
| 非支配株主持分 | 199 | 89 |
| 純資産合計 | 241,281 | 240,383 |
| 負債純資産合計 | 702,376 | 794,382 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 950,219 | 1,057,814 |
| 売上原価 | 872,297 | 975,697 |
| 売上総利益 | 77,922 | 82,117 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 役員報酬及び給料手当 | 33,564 | 33,390 |
| 賞与引当金繰入額 | 1,463 | 1,546 |
| 役員賞与引当金繰入額 | 40 | 31 |
| 退職給付費用 | 199 | 210 |
| 福利厚生費 | 5,818 | 5,849 |
| 車両費 | 790 | 824 |
| 貸倒引当金繰入額 | 64 | 325 |
| 減価償却費 | 4,554 | 4,150 |
| のれん償却額 | 248 | 222 |
| 賃借料 | 6,044 | 5,986 |
| 租税公課 | 1,519 | 1,565 |
| 仮払消費税の未控除費用 | 4,760 | 4,810 |
| その他 | 13,303 | 14,648 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 72,372 | 73,564 |
| 営業利益 | 5,549 | 8,552 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 46 | 41 |
| 受取配当金 | 1,151 | 1,048 |
| 受取手数料 | 2,357 | 2,446 |
| 持分法による投資利益 | 4 | 132 |
| その他 | 1,157 | 1,564 |
| 営業外収益合計 | 4,717 | 5,234 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 56 | 54 |
| 不動産賃貸費用 | 149 | 160 |
| その他 | 174 | 144 |
| 営業外費用合計 | 380 | 358 |
| 経常利益 | 9,887 | 13,428 |

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 71 | 115 |
| 投資有価証券売却益 | 1,039 | 2,784 |
| その他 | 23 | 19 |
| 特別利益合計 | 1,134 | 2,920 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 105 | 113 |
| 減損損失 | 127 | 26 |
| 独占禁止法関連損失引当金繰入額 | - | 1,400 |
| その他 | 394 | 359 |
| 特別損失合計 | 627 | 1,900 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 10,394 | 14,448 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3,080 | 4,737 |
| 法人税等調整額 | 377 | 159 |
| 法人税等合計 | 3,457 | 4,897 |
| 四半期純利益 | 6,936 | 9,551 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 26 | 17 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 6,910 | 9,534 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 6,936 | 9,551 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △4,105 | △692 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △24 | 58 |
| その他の包括利益合計 | △4,129 | △634 |
| 四半期包括利益 | 2,806 | 8,917 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 2,780 | 8,899 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 26 | 17 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より、重要性が増したため株式会社ストレッチアを連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (百万円) (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2) |
|---------------------------|----------------------|---------------------|------------------------|----------------------|------------|----------------------|--|
| | 医薬品 卸売事業 (百万円) | 調剤薬局 事業 (百万円) | 医薬品製造 販売事業 (百万円) | その他 周辺事業 (百万円) | 計 (百万円) | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客への売上高 | 876,813 | 68,904 | 1,377 | 3,124 | 950,219 | — | 950,219 |
| (2) セグメント間の 内部売上高又は振替高 | 36,976 | 5 | 5,326 | 1,029 | 43,338 | △43,338 | — |
| 計 | 913,790 | 68,910 | 6,703 | 4,154 | 993,557 | △43,338 | 950,219 |
| セグメント利益 | 3,648 | 2,280 | 691 | 308 | 6,928 | △1,378 | 5,549 |

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間の内部取引の消去、未実現利益の消去及び全社費用によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (百万円) (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2) |
|---------------------------|----------------------|---------------------|------------------------|----------------------|------------|----------------------|--|
| | 医薬品 卸売事業 (百万円) | 調剤薬局 事業 (百万円) | 医薬品製造 販売事業 (百万円) | その他 周辺事業 (百万円) | 計 (百万円) | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客への売上高 | 983,583 | 68,839 | 1,613 | 3,777 | 1,057,814 | — | 1,057,814 |
| (2) セグメント間の 内部売上高又は振替高 | 36,401 | 4 | 5,829 | 1,161 | 43,396 | △43,396 | — |
| 計 | 1,019,985 | 68,843 | 7,442 | 4,939 | 1,101,210 | △43,396 | 1,057,814 |
| セグメント利益 | 6,778 | 1,738 | 715 | 449 | 9,681 | △1,128 | 8,552 |

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間の内部取引の消去、未実現利益の消去及び全社費用によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。